

◎燃焼ガスはどうなる？

ごみが燃焼することで発生した排ガスを「ガス冷却室」で冷却し、排ガスの中にある有害成分は消石灰で除去します。また、活性炭を噴霧してダイオキシン類の発生を抑制します。

◎灰はどうなる？

焼却炉から排出された焼却灰を「灰コンベヤ」で搬送し、一時貯留した後に灰搬出車で場外に運びます。

◎巨大なクレーンが活躍

「ごみピット」内に設置された巨大なクレーンは、一度に500～600kgのごみをつかむことができます。

クレーンによって均一に攪拌されたごみは、焼却炉につながる「投入ホッパ」へと運ばれます。

◎搬入される大量の燃やせるごみ

搬入される燃やせるごみの量は事業所も含めて1日当たり約47 t (高梁市分が約37 t、吉備中央町分が約10 t)。



出したごみはどうなるの？  
燃やせるごみは段町にある「クリーンセンター」で焼却処理を行います。燃やせないごみと粗大ごみはクリーンセンターの粗大ごみ処理施設で破砕処理を行います。資源ごみは落合町阿部にある「リサイクルプラザ」などで処理を行います。

☎クリーンセンター ☎(22)465  
1/リサイクルプラザ ☎(21)0530



焼却炉の運転状況などをコンピューターシステムで確認



さまざまなごみ質に対応する「ストーカ式焼却炉」で燃焼



クレーンを操作してごみを運ぶ



「ごみピット」に可燃ごみを投入



収集した燃やせるごみをクリーンセンターへ持ち込む

燃やせるごみ



梱包したものを再商品化事業者などへ引き渡す



異物や汚れのないものを圧縮・梱包



リサイクルプラザで他のごみが混ざっていないか確認



ごみステーションで「その他プラスチック」の緑色ボックスを回収

その他プラスチック

その他プラスチックはさまざまな製品や材料として生まれ変わります



▲園芸用プランター



▲荷物を運ぶフォークリフトなどで使うパレット(荷台)



▲擬木

◎確認は全て手作業

その他プラスチックの中に異物や汚れたものが入っていないかを手作業で確認し、汚れているものやその他プラスチック以外のものを取り除いています。



- ※間違えやすいもの
- ・プラスチック製のスプーンやフォーク
- ・ハンガー、歯ブラシ
- ・ペットボトル など

その他プラスチックとは？

メーカーや販売店が商品を入れたプラスチック製の容器や包装で、ペットボトル以外のものです。

バケツ、プランター、プラスチックケース、おもちゃ、汚れのひどいものなどは燃やせるごみに出してください。



▲マークが付いています